

# OSAKA Titanium technologies Co.,Ltd.



2017年10月30日

各位

会 社 名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ

代表者名 代表取締役社長 杉 崎 康 昭

(コード番号:5726 東証第一部)

(TEL. 06-6413-9911)

問合せ先 総務部長 土井 卓

平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と決算値の差異

及び剰余金の配当(中間配当)の見送りに関するお知らせ

2017年4月28日に公表しました平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

あわせて、本日開催の取締役会において、2017年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を見送ることを下記のとおり決議しましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 業績予想値と実績値の差異について

## (1) 平成30年3月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異 (平成29年4月1日~平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,600	300	200	0	0 00
第2四半期累計期間実績(B)	18, 122	417	413	240	6 54
増減額(B-A)	$\triangle 1,477$	117	213	240	_
増減率(%)	△7.5	39. 1	106.8	_	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	17, 964	△418	△1, 343	△983	△26 73

#### (2) 差異が生じた理由

売上高につきましては、主にポリシリコン事業において出荷の一部が第3、第4四半期に後 ろ倒しとなったことにより減少し前回予想値を下回りました。

営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、ポリシリコン事業の売上減はあったものの、為替水準が円安基調で推移したことや製造コストの削減効果等により前回予想値を上回りました。

## 2. 剰余金の配当(中間配当)の見送りについて

### (1)配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2017年4月28日公表)	前期実績 (平成29年3月期第2四半期)	
基準日	2017年9月30日	同左	2016年9月30日	
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭	
配当金総額	_	_	_	
効力発生日	_	_	_	
配当原資	_	_	_	

## (2) 理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付け、配当につきましては安定性に配慮しつつ25%から35%の配当性向を目安としております。

当期の配当につきましてはこれまで未定としておりましたが、第2四半期末の中間配当につきましては、上記第2四半期累計期間の業績実績を踏まえ誠に遺憾ながら見送りとさせていただきます。

なお、当期の期末配当予想につきましては、販売環境等に未確定要素があることから引き続き未定とし、今後業績動向を見定めて決定次第速やかに開示させていただきます。

以上